



すてきなトップリダーに！すてきな先輩に！

3月8日(金)、凛とした空気感が漂う中にも温かみのある雰囲気の中で3年生13名が錦中学校から巣立っていきました。

2年生は錦中学校のトップリダーとなり数日が経ちました。いろいろな手本を示していた先輩たちはもういません。これからは、2年生が「錦中学校の顔」となり、「錦中学校のリーダー」として、周囲の期待と責任を感じながら、「自分たちらしさ」を発揮していかなくてはなりません。まずは、君たち一人ひとりが「信頼される自分」、そして学年全体が「信頼されるチーム3年」を創っていくことが大切です。



やればできる！君たちならすてきなトップリダーになれる！

また、1年生は4月に新1年生が入学してくると、「先輩」になります。この1年間、錦中生として「先輩」に支えられながら、さまざまな体験・経験を積んできた君たちです。「信頼される先輩とは、どのような人物か」君たちは理解しているはずですが、4月からはそれを実践していかなくてはなりません。

やればできる！君たちならすてきな先輩になれる！

先輩たちが創りあげてきた「伝統」を引き継ぎながら、「自分たちらしさ」を加え、よりよい錦中学校にしていきましょう。「錦中学校」「ふるさと」が愛すべき場所となるよう、みんなで「チーム錦」、いや「ファミリー錦」を実践していきましょう。

春休みの生活で大切にしてほしい五箇条

春休みは3月27日(水)～4月7日(日)の12日間しかありません。ぼーっとしていたら、あっという間に終わってしまいます。新年度に向けて、しっかり準備をする時間にしたいものです。そこで、「春休みの生活で大切にしてほしい五箇条」を紹介します。参考にしてみてください。

「春休みの生活で大切にしてほしい五箇条」

- 1 「安全」と「健康」が第一です！(特に自転車の運転には気を付けてください)
- 2 「規則正しい生活」を心がけよう！(早寝・早起き・朝ごはん、学習時間・スマホ使用時間・就寝時間など規則正しい生活をしましょう)
- 3 「家の手伝い」をしよう！(「目配り・気配り・思いやり」精神でできることをしましょう)
- 4 「変心ノート」を活用しよう！(自主学習において、変心ノートを利用してください)
- 5 家族との「あいさつ」を大切にしよう！(「おはよう」「ありがとう」「おやすみ」など)

「未見の我(みけんのわれ)」を開花せよ

本年度の「かけはし」は、「錦中生はこんなにがんばっている」「錦中生にすてきな大人へ成長してほしい」そのような思いをもって錦中学校では教育していることを保護者や地域のみなさま、より多くの人たちに伝えるために書いてきました。

錦中生は私たち教職員がイメージしている以上にこの1年で成長してきました。4月になると卒業生は「高校生」へ、2年生は「最上級生」へ、1年生は「中堅学年」へと新たなステージに進んでいきます。一人ひとりにとって、大切な節目の時期を迎えます。

そんな愛すべき君たちへ、今日は次の言葉を紹介します。

「未見の我(みけんのわれ)」を開花せよ

「未見の我」とは、恐らく多くの錦中生が初めて聞く言葉だと思います。意味は、「自分の中には自分自身がまだ知らない、気が付いていない自分がある」ということです。言い換えると「自分の中には、自分が気が付いていないすてきな可能性が眠っている」ということになります。

「開花せよ」とは、その可能性を眠ったままにすることなく、その可能性をしっかりと花開かせようということです。

人間、誰の中にも「未見の我」が存在すると思います。しかし、それに気が付くことなく、眠ったままで終わらせてしまうことが多いのではないのでしょうか。「未見の我」に気が付き、それをしっかりと花開かせるか、せつかくの可能性を花開かせることなく眠らせたままにしてしまうかで、人生は大きく違ってきます。

では、「未見の我」に気が付き、それを開花させるためには、一体何が必要なのでしょうか。はっきり言えることが2つあります。

ひとつは人としての「ひたむきさ」です。「ひたむきさ」とは心を込めて一生懸命に物事に取り組むことです。「どうせ自分はダメだから」と諦めた時点で人間の成長は止まってしまいます。人間の毎日の生活は、そんなに大きな変化があるものではありません。平凡な日々が毎日続いていきます。そんな平凡な生活の中で、「心のこもったあいさつ・返事をする」「心を込めて床を磨き、掃除する」など「ひたむきさ」を大切に物事に取り組んでいくことで、自分の中にある可能性に気が付き、「すてきな自分」をつくっていくことができます。

ふたつめは、人としての「目配り・気配り・思いやり」です。人としてよりよく生きるため、自分を大切にすることは大前提ですが、周りの人への「目配り・気配り・思いやり」があると、心地よい温かい雰囲気生まれます。そうすると、自分も周りから「目配り・気配り・思いやり」を受けようになり、周りの人たちが自分のよさを伝えてくれるようになり、「すてきな自分」に気が付くわけです。

自分の可能性を蓄のままで終わらせることなく、一人ひとりの「未見の我」が登校坂のすてきな桜のように花開くことを願っています。

卒業生、それぞれの進路先で「未見の我」を開花させてください!在校生、この錦中学校で「未見の我」を開花させてください!やればできる!君たちならできる!

最後に保護者のみなさま、地域のみなさま、1年間ありがとうございました。令和6年度の錦中学校もよろしく願いいたします。